

会議等名	海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会 委員委嘱式及び第1回委員会
日時	平成29年2月3日(金) 午後1時30分から2時45分
場所	海老名市役所 3階 政策審議室
出席者	<p>委員：伊勢田委員、今別府委員、大石委員、山崎委員、亀子委員、内山委員、小賀坂委員、越谷委員、荻窪委員、河野委員 (松竹委員、大矢委員、清水委員欠席)</p> <p>事務局：海老名市長 内野優 保健福祉部長 橋本祐司 保健福祉部次長(健康担当) 小澤孝夫 高齢介護課長 内田拓亜 高齢者支援包括ケア担当課長 萩原明美 高齢者支援係長 安本栄、介護保険係長 荒井保、介護認定係 主幹兼係長 大島みどり、高齢者支援係主事 山崎禎広</p> <p>傍聴者：なし</p>
概要	<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱式</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 正副会長の選任について 会長：内山委員、副会長：小賀坂委員</p> <p>6 議 事</p> <p>(1) 介護保険制度について 資料に基づき事務局から説明</p> <p>(2) 海老名市の状況について 資料に基づき事務局から説明</p> <p>(3) 高齢者保健福祉計画について 資料に基づき事務局から説明</p> <p>《質疑・意見等》</p> <p>(委員) 人口推計が出ているが、西口の開発が完成することで、この推計以上に人口の増加があるのではないかと。</p> <p>➤ (事務局) 本推計は、西口開発による人口の増加も見込んだものとなっている。</p> <p>(委員) 国の基本指針に則ってという話だったが、基本指針はいつ頃示されるものなのか。</p> <p>➤ (事務局) 2月上旬に法案が国会提出されるようであり、法案成立後、夏頃には提示されると考えている。</p>

(4) アンケート調査について

資料に基づき事務局から説明

《質疑・意見等》

(委員) こういった調査では、回収率が重要となる。質問の数も増えており、回収率の低下が懸念されるが、何か回収率を上げる方法について考えているのか。

- ▶ (事務局) 要介護度が高く自身で回答できない方についてはケアマネジャーに支援を頼み回答していただく等、事務局でも回収率を上げるため工夫していきたい。

(委員) 回答していただくよう、サロン等の場で声かけをしてはどうか。

- ▶ (事務局) 声かけも含め、周知の方法についても検討する。

(委員) 郵送で調査とあるが、返送方法がわからない方がいるのではないか。

- ▶ (事務局) 返信用封筒を同封するため、回答者はポストに投函するだけで届くようになっている。ポストに投函することも難しい方については、支援関係者に支援をお願いする等の手段を考えている。

(委員) 第6期のアンケートの回収率は何%か。また、アンケートを回収した後どのようなスケジュールで計画に反映させていくのか伺いたい。

- ▶ (事務局) 回収率については、資料5を参照いただきたい。今後のスケジュールについてだが、資料6のとおり4月にアンケートを発送し、7月をめどにアンケートの分析と事業評価分析を行う。その後夏以降に計画の素案を作成し、8月、10月、12月の策定委員会にて素案の検討を行っていくこととなる。また、12月にはパブリックコメントを実施し、平成30年1月に最終案を作成し策定する予定となっている。

(委員) アンケートについて、介護予防についての予備的な知識を得てもらうような質問も必要ではないか？地域にとって必要なものを把握できるよう、質問を工夫する必要がある。

- ▶ (事務局) 制度が変わり、お金の出所は変わるが、利用者にはこれまでと同じような形で利用していただけるよう制度設計を行っている。事業者と利用者にとって、不便なものにならないよう考えている。

また、市独自の質問項目においては、問13～16で地域のニーズを拾いあげるような質問を新設しており、地域ニーズの把握も考慮した質問としている。

(委員) 生きがい教室や介護予防事業等、様々な事業があり、わかりづらいといった意見も聞く。その辺りは地域包括ケアシステムの中で一括して処理できるようなかたちにするべきではないか。

- ▶ (事務局) 総合事業や介護予防事業等、事業が多様となってはいるが、全て地域包括ケアシステムに含まれているものだと考えている。

(委員) 資料の字が小さいため、大きくしてほしい。

(5) その他

次回策定委員会は平成 29 年 3 月を予定している。

日程を調整していただき、参加をお願いしたい。

7 閉 会

以 上